

# 私保協ニュース

(No. 40 令和6年6月14日号)

広島市私立保育協会の会員の皆様には、いつも大変お世話になっております。

さて、同封しておりますとおり、全私保連の月刊誌「保育通信」の1月号から連載していた『ことばの散歩道』のシリーズが、今月、6月号を以って終了しました。

昨年末、全私保連より当協会に原稿執筆の依頼があり、会員の中から6名の有志を募って、毎月、お一人ずつ執筆していただいたものです。

最後の掲載を機に、集めて読み返してみると、執筆者には、保育を含む日常生活の中で心に残ったことば、大切にしていることば、座右の銘、保育関係者に是非とも伝えたいことばなどを、美しい日本語でやわらかく書き表していただいたと感じています。

「書いて読んでもらう喜び」とともに、日本中の保育関係者に読んでもらうという重圧の中、当協会の人財の魅力をも十分に伝えていただいたと歡んでいます。

執筆者の皆様には、厚くお礼を申し上げます。

また、今度の連載を最後までお読みいただいた会員の皆様にも感謝申し上げます。

(文責：広島市私立保育協会理事長 福島ニール圭治)